

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏 - 1	(2) 記載者氏名:	福岡 孝昭	会員番号:	12185	事務局整理記入欄	スキークラブ - 6
分水嶺区分	E351馬坂峠～E352台倉高山	(3) 山行日:	2004年	10月	10日	(4) 天候	霧のち晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

費田統亜(ゲスト)	6497	小林義亮	10302				
高原三平	7949	河野直子	11478				
福士節子	8147	野口いづみ	12105				
阪下悦子	9013	福岡孝昭	12185				
藪田益資	10244	日出平洋太郎	13677				
計			10名	計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	馬坂峠～台倉高山～引馬峠方向引き返し(1995m)地点～台倉高山～台倉高山北峰～馬坂峠												
アプローチ:	馬坂峠まで車使用												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点E351	馬坂峠	帝釈山	139	27	31	36	57	50	1,760		7:50		
E352	台倉高山	帝釈山	139	26	28	36	56	42	2,058	10:30	10:45	A-2	(11)
	引き返し点	帝釈山	139	26	20	36	56	41	1,995		11:04	B-2	
E352	台倉高山	帝釈山	139	26	28	36	56	42	2,070	11:23	12:00	B-2	
	台倉高山北峰	帝釈山	139	26	31	36	56	51	2,073	12:20	12:25	B-3	(11)
分水嶺離別点E351	馬坂峠	帝釈山	139	27	31	36	57	50	1,795	14:25		A-2	
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):												5時間36分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
E352	台倉高山	3	正しい	良好	なし

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

コース上に水場は1つも無い。

(10) その他の特記事項

<p>当初、藪こぎを覚悟していたのに、台倉高山までの道は、つい数日前に刈り払いがされたと思われるほど、ごく最近刈り払いが行われたばかりで、何の苦勞も無く台倉高山山頂に到着した。山頂には数枚の標識板が周囲の木に着けられていた。さらに引馬峠に向かうコースも踏みあとが明瞭であるので、先へ進んだものの、2～300m程進むと、完全な藪になり進んだものの2～300mですごい藪になり、今回は引き返すことにする。馬坂峠に引き返す途中、分水嶺上にあるが、刈り払われたコースからはずれていた台倉山北峰頂上を藪こぎで往復する。刈り払われたコースのほとんどは分水嶺の福島県側を通過している。台倉山北峰の部分のみ、栃木県側を通過している。完全な刈り払いが行われている。馬坂峠からの入口をはじめ、一切の道標が未設置であった。しかし近日中に設置される雰囲気であった。今回の山行の結果スキークラブが分担する分水嶺のうち残った深い藪こぎが見込まれるコースについて、積雪期に踏破することにして、馬坂峠からの帰りに車で、林道の状態の下見をした。</p>

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	今回の目標地点、台倉高山山頂で、三角点を前に記念写真。藪の中の台倉高山北峰。

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



今回の目標地点、台倉高山山頂で、三角点を前に記念写真



藪の中の台倉高山北峯